33 01 04 01 04 002

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	がん検診事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3348
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200001 健康でいきいきと暮らせるまち（子育て・保健・福祉）	根拠法令個別計画等	健康増進法（Ｈ２０年度～）がん対策基本法（Ｈ１９年度～）				
中項目	200002 健やかで元気に暮らせるまちづくり						
小項目	200001 健康づくりの推進						

事業概要	本事業は、検診機会のない市民を対象にがん検診を実施し、がんの早期発見・早期治療に繋げるものである。 併せて新たなステージに入ったがん検診総合支援事業（国補助事業）により子宮頸がんは２０歳、乳がんは４０歳の女性に無料クーポン券送付。
目的 ※何のために	がんの早期発見と早期治療に繋げるため
対象 ※誰・何を対象に	検診機会のない市民
手段 ※どのように	集団検診（胃がん（レントゲン）、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）と個別検診（胃がん（内視鏡）・子宮頸がん・乳がん）を実施する。
成果 ※何を求めるか	受診者が増加する。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	04	衛生費	01	保健衛生費	04	健康増進費	がん検診事業	89,126,672
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 胃がん検診（レントゲン・内視鏡）	・ 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業（子宮頸・乳）
・ 肺がん検診	・
・ 大腸がん検診	・
・ 前立腺がん検診	・
・ 子宮頸がん検診	・
・ 乳がん検診	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			胃内視鏡検診導入				
事業費	予算（現額）	130,444,000	127,708,000	121,570,000	100,524,000	132,188,000	126,995,000
	決算額	106,567,832	103,707,223	112,289,658	89,126,672	0	0
財源内訳	国支出金	605,000	613,000	971,000	1,056,000	900,000	1,000,000
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	10	0	0	0
	一般財源	105,962,832	103,094,223	111,318,648	88,070,672	131,288,000	125,995,000
人件費	従事職員数（人）	2.00	1.85	1.92	1.55	1.33	1.33
	人件費相当試算 ※１	15,558,000	14,396,700	15,561,600	12,610,800	10,820,880	10,820,880
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		122,125,832	118,103,923	127,851,258	101,737,472	143,008,880	137,815,880

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	がん検診実施回数	目標値	回	450.00	519.00	519.00	519.00	519.00	519.00	□
			実績値		519.00	542.00	557.00	473.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度の実績から目標値を設定							
		集団検診延回数（６がん）									
■	成果指標１	各種がん検診平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）	目標値	%	0.00	10.00	10.10	10.20	10.30	10.40	□
			実績値		9.90	10.60	10.68	8.92	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度の実績から目標値を設定予定							
		５検診指針年齢受診率の合計／５									
■	成果指標２	がん検診要精検者精検平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）	目標値	%	0.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	□
			実績値		80.60	85.80	82.84	84.93	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		国の目標値と同様							
		５精検指針年齢受診者数／対象者									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 がん検診実施回数は、新型コロナウイルス感染症の流行のため検診が中止となった時期があり昨年度より少なくなったが、希望者には検診の受診機会を提供することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 各種がん検診平均受診率は、昨年度より減少した。 がん検診要精検者精検平均受診率は昨年度より増加したが目標には至らなかった。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	第一係長　吉野真弓　第二係長　小井土和美

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	がん検診受診率やがん検診精検平均受診率が向上するよう勧奨方法等を研究する。
達成状況 及び その効果	がん検診受診率が向上するよう、特に受診率の低い子宮頸がん・乳がん検診を対象に国立がん研究センター開発のナッジ理論を踏まえた勧奨媒体を昨年に引き続き使用し勧奨を実施した。使用前よりも勧奨効果が上がっている。 がん検診精検平均受診率は、受診月ごとに効果的な時期を踏まえ、手紙及び電話で勧奨を実施した。

事務事業評価表

6．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	がん検診事業	担当課	保健センター	担当係	保健指導第一係	管理番号	3348

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

□ 委託化等の検討
□ 成果向上のための改善
□ 効率化のための改善
□ 事業規模の縮小
□ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

がん検診受診率はコロナ禍の影響もあり減少したが、がん検診は不要不急ではないため、受診率が向上するよう積極的な勧奨を検討していく必要がある。
がん検診の精度管理については医師会や医療機関の協力のもと、年々向上してきている。引き続き、精度の高い検診を目指し実施していく。

評価者	次長兼保健センター所長　清水　良保

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

7．改善改革プランと今後の課題

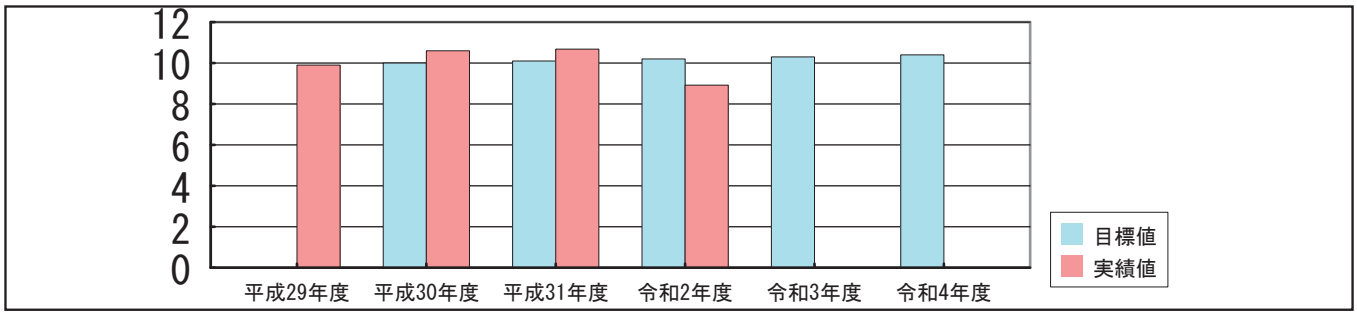
改善・改革案	コロナ禍であってもがん検診を受診するよう啓発する必要がある。

8．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

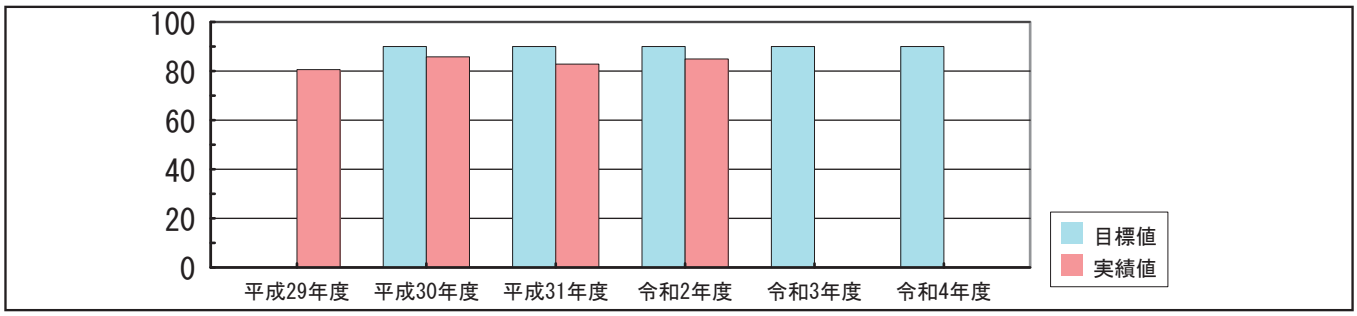
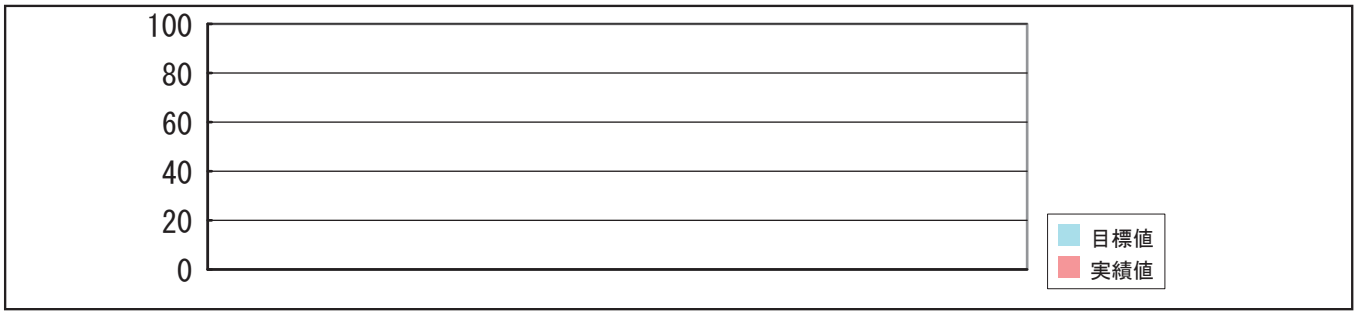
今後の課題	コロナ禍でのがん検診の啓発方法を検討する。

9．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	各種がん検診平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）



区分	成果指標２	指標名	がん検診要精検者精検平均受診率（地域保健・健康増進事業報告）



区分		指標名